

Ruby 言語によるオープンソース Web コマースシステムの開発 —フリーのコマースシステム esr-sys —

1. 背景

近年オブジェクト指向のスクリプト言語として、「Ruby」が注目を集めています。また、Web システムではネットショッピングの需要が拡大していることから、コマースシステム(もしくはモールシステム)が注目されています。しかし、現状では Ruby を使ったコマースシステムはほとんど見かけません。

また、多くのコマースシステムは高価であり、かつデザインやシステムの変更が難しいという問題があります。

2. 目的

Ruby 言語と、デザインの変更を容易にするため純粋な HTML をテンプレートとして利用できる Amrita テンプレートライブラリを使ってオープンソースのコマースシステムを開発することを目的としました。

3. 開発の内容

本プロジェクト(以下ソフトウェア名称 esr)では以下にあげる開発を行いました。

- Ruby と Amrita テンプレートライブラリを利用することにより、純粋な(ASP や PHP などに見られる `<% ... %>` のようなプログラムを埋め込むための特殊なタグを利用しない)HTML をテンプレートとして利用できるようにしました。
- テンプレートの id 属性とマッチするメソッド定義を、特定の名前をつけたディレクトリ(デフォルトでは 'plugin')に保存しておくことで、テンプレート呼び出しの都度、自動的にロードされ、実行されるプラグインの仕組みを用意しました。
- オーダー情報やユーザー情報、システムの設定情報などを格納するオブジェクトは、システムの標準プラグインによってすべてのページで自動的に生成され、追加するプラグインからも特定の変数名でアクセスできるようにしました。
- ユーザーを特定するための一般的なユーザー認証として ID とパスワードによるログイン機能を提供しました。

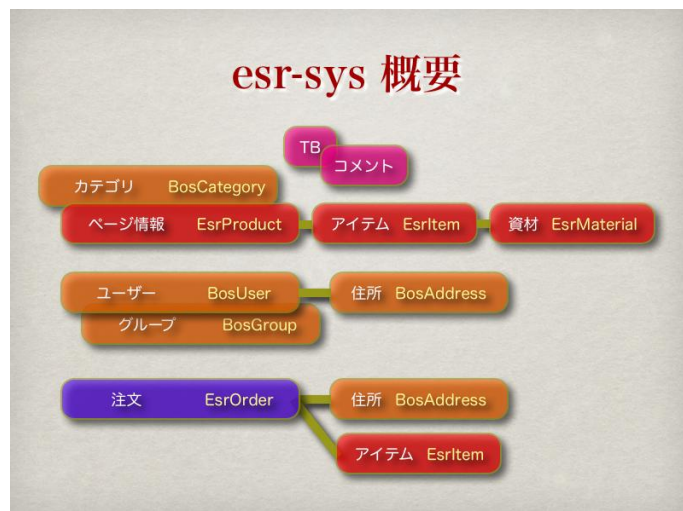


図 1 esr-sys クラス構成概要

- 決済手段を提供するために、さまざま

また、コマースシステムとしては既存のシステムであまりサポートされていない「資材」レベルでの在庫管理や詳細な送料計算などの特徴があります。

4. 従来技術(または機能)との相違

ウェブアプリケーションの構築においてデザイナーが作成する HTML をなるべくそのままの形で利用できる Amrita テンプレートエンジンをベースとし、メソッド/クラス単位での機能の追加とオープンソースによってシステムに自由度をもたせました。

5. 期待される効果

コマースシステムの需要が拡大している中で、オープンソースのシステムとして esr がひとつの選択肢となれることを目指し、またコマースシステム同士の連携により、より広範囲な情報を収集/掲載するモールシステムへの発展が期待できます。

6. 普及(または活用)の見通し

今後は本格的なコマースシステムを目指して機能の拡張を行ってゆき、現在開発者の所属する会社組織において、実際にシステムとして利用する方向での検討を行っています。

7. 開発者名(所属)

二宗 崇(株式会社いい庭 取締役)

(参考)

公開サイト <http://esr-sys.org/>